

河内長野市第4次保健計画中間評価

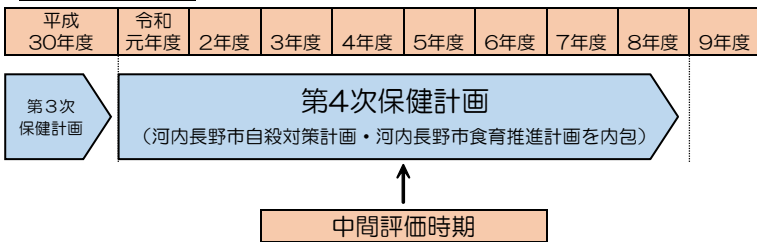
【概要版】

令和5年3月

生涯を通じた健康づくりを市民・地域・行政など多様な主体が総合的かつ計画的に推進し、健康寿命の延伸による生活の質の向上を図ることを目的として、「河内長野市保健計画」を策定しています。令和4年度は第4次保健計画の中間評価・見直しの年度となっています。

今回、令和8年度の目標達成に向け、効果的かつ効率的に健康づくり事業を推進するため、これまでの取り組みを分析し、中間評価を行います。

○計画の期間



法等の位置づけ
・「健やか親子21」における市町村行動計画 ・食育基本法に基づく市町村食育推進計画 ・自殺対策基本法に基づく市町村自殺対策計画 ・健康増進法に基づく市町村健康増進計画
上位関連計画
・河内長野市第5次総合計画

○基本理念

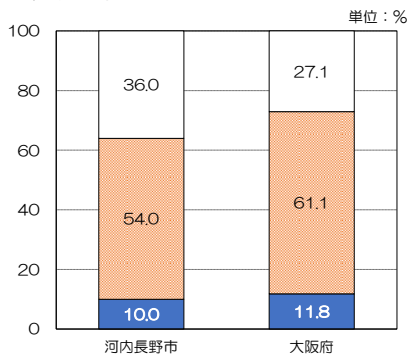
基本理念
子どもも 大人も みんな すこやか
笑顔あふれる まち

重要課題 切れ目のない、妊産婦・乳幼児への保健対策の充実

重要課題
運動や食による主体的な健康づくりの啓発／身体とこころの健康づくりの推進／
がん検診、各種健診の受診促進と生活習慣病の予防・改善

○河内長野市の健康づくりに係る概況

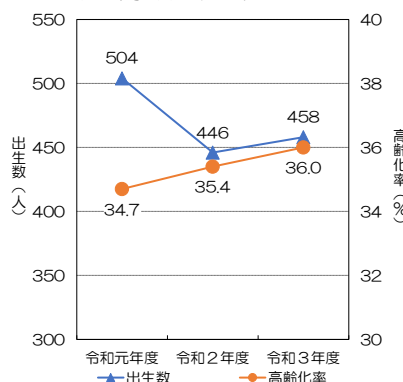
◎年齢区分別人口



出典：河内長野市人口動態の分析（令和4年3月末時点）
総務省『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査』（大阪府／令和4年1月1日時点）

令和4年3月末の人口は101,276人です。そのうち0~14歳は10.0%、15~64歳は54.0%であり、大阪府より低くなっています。一方、65歳以上は36.0%であり、大阪府より高くなっています。

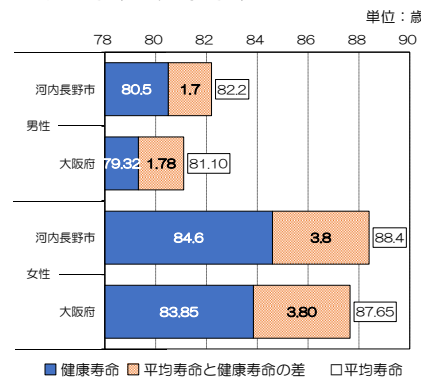
◎出生数・高齢化率の状況



出典：河内長野市人口動態の分析（令和4年3月末時点）

出生数は令和元年度以降、減少傾向です。一方、高齢化率は増加の傾向がみられます。

◎平均寿命・健康寿命



出典：大阪府健康推進室健康づくり課提供（令和2年）

平均寿命は男性82.2歳、女性88.4歳、健康寿命は男性80.5歳、女性84.6歳となっています。平均寿命、健康寿命ともに大阪府を上回っています。

○健康づくりに係る施策の評価・目標値の見直し

健康づくりに係る施策の7つの分野ごとに取り組みに対する評価、目標値の見直しを行います。改善した項目には😊、悪化した項目には😞、改善や悪化に男女差がある項目には😐を表示しています。

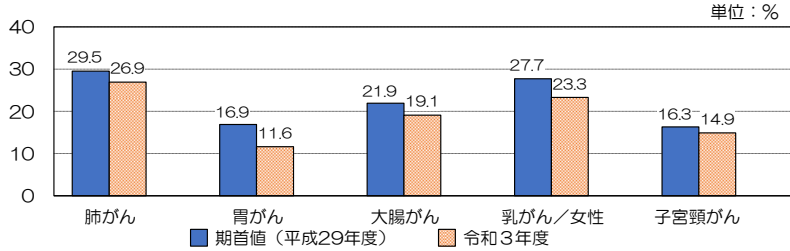
データ分析及び考えられる改善・悪化の要因		令和5年度以降の対策・方向性												
母子保健 😞	<p>乳幼児健診未受診率</p> <table border="1"> <caption>乳幼児健診未受診率 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>健診時期</th> <th>期首値 (平成29年度)</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4か月健診未受診率</td> <td>2.4</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>1歳7か月健診未受診率</td> <td>3.2</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>3歳6か月健診未受診率</td> <td>8.5</td> <td>7.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>乳幼児健診の未受診率は、期首値に比べ4か月健診で増加しています。その要因としては、コロナ禍で、外出や集団で受けることに抵抗があり、受診控えがあったためと考えられます。</p>	健診時期	期首値 (平成29年度)	令和3年度	4か月健診未受診率	2.4	3.5	1歳7か月健診未受診率	3.2	3.2	3歳6か月健診未受診率	8.5	7.2	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な場面で、受診勧奨の強化を行います。 • 特に4か月健診では、赤ちゃん訪問等の機会を通じて啓発を強化し、他の健診の未受診者に対しても、個別勧奨の強化に努めます。
	健診時期	期首値 (平成29年度)	令和3年度											
4か月健診未受診率	2.4	3.5												
1歳7か月健診未受診率	3.2	3.2												
3歳6か月健診未受診率	8.5	7.2												
<p>育てにくさを感じた時に対処できる親の割合</p> <table border="1"> <caption>育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>健診時期</th> <th>期首値 (平成29年度)</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4か月健診</td> <td>81.3</td> <td>64.3</td> </tr> <tr> <td>1歳7か月健診</td> <td>83.3</td> <td>73.8</td> </tr> <tr> <td>3歳6か月健診</td> <td>84.8</td> <td>78.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>「育てにくさを感じた時に対処できる親」の割合は、4か月健診で特に悪化しており、コロナの自粛期間で外出等の減少により、相談できる機会が減少したためと考えられます。</p>	健診時期	期首値 (平成29年度)	令和3年度	4か月健診	81.3	64.3	1歳7か月健診	83.3	73.8	3歳6か月健診	84.8	78.9	<ul style="list-style-type: none"> • 赤ちゃん訪問から、4か月健診までの、不安が高い時期の相談の充実に努めます。 • 保健師・助産師・心理相談員等専門職による相談事業の啓発や勧奨の強化を行い、寄り添いながら必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」の充実に努めます。 	
健診時期	期首値 (平成29年度)	令和3年度												
4か月健診	81.3	64.3												
1歳7か月健診	83.3	73.8												
3歳6か月健診	84.8	78.9												
栄養・食生活 😊	<p>朝食を食べない人の割合</p> <table border="1"> <caption>令和4年度 市政アンケート結果 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>朝食摂取状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほとんど毎日食べている</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>週に4~5日食べる</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>週に2~3日食べる</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>ほとんど食べない</td> <td>8.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>20~30歳代の「朝食を欠食する人」の割合は、33.2%と期首値33.3%と比べ横ばいで、目標値との差が大きい現状です。その要因としては、若い世代に朝食の大切さについて情報が浸透していないためと考えられます。</p>	朝食摂取状況	割合	ほとんど毎日食べている	66.8	週に4~5日食べる	17.1	週に2~3日食べる	7.5	ほとんど食べない	8.6	<ul style="list-style-type: none"> • 令和4年度に作成した「朝食レシピ集」の周知等により、朝食の大切さについての啓発を強化します。 		
朝食摂取状況	割合													
ほとんど毎日食べている	66.8													
週に4~5日食べる	17.1													
週に2~3日食べる	7.5													
ほとんど食べない	8.6													
休養・心の健康 😊	<p>自殺者数は、令和2年は12人であり、期首値17人と比べ改善していますが、目標値は達成していません。その要因としては、コロナ禍による社会情勢の変化も一因であったと考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 面接時における相談員の相談技術を向上させます。 • 連絡会等を通じて、関係機関との連携を強化します。 												
	<p>令和4年度市政アンケートで「こころが疲れた時に相談できる専門機関を知っている人」の割合は38.2%であり、期首値の36.0%と比較して改善していますが、目標値との差が大きい現状です。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、相談機会を増やし、相談窓口等の周知・啓発を強化した効果と考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページ、市公式LINE、広報紙等を通じて、幅広い世代に向けた相談窓口を啓発します。 												

データ分析及び考えられる改善・悪化の要因

令和5年度以降の対策・方向性

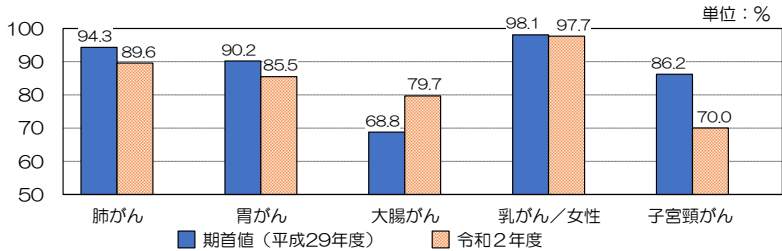
がん・生活習慣病 ☹️

市が実施するがん検診受診率



市が実施するがん検診受診率は肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診で、期首値を下回っており減少傾向にあります。
市政アンケートによると「受けるのが面倒」「医者にかかっている」が全体の約6割を占めており、これらの要因が受診率の低下につながっていると考えられます。

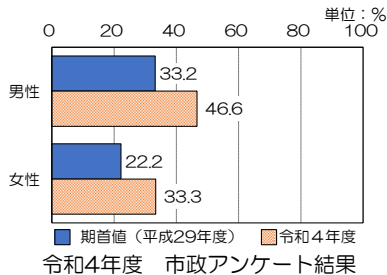
市が実施するがん検診受診後の精密検査受診率



市が実施するがん検診受診後の精密検査受診率は大腸がんで改善傾向にありますが、その他のがんは減少傾向にあります。
精密検査の身体的負担や「検査の必要性を感じない」等の理由により、自己判断で受診を控えることが要因と考えられます。

身体活動・運動 😊

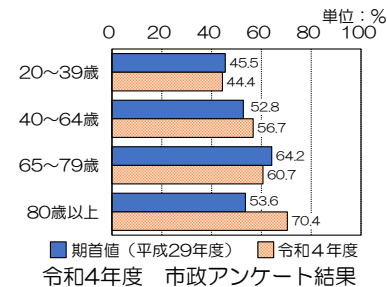
運動習慣のある人の割合



男性で運動習慣のある人は、46.6%と期首値33.2%・目標値35.0%とともに達成しています。女性で運動習慣のある人は33.3%と、期首値22.2%より増加していますが、目標値は達成していません。
年代別に見ると70歳代が最も高く、運動習慣者の増加につながっていると考えられます。

歯の健康 😊

定期的な歯科検診の受診率



定期的な歯科検診の受診率（40～64歳）は56.7%と目標値55.0%を達成しています。その要因としては、歯と口の健康による全身への影響や、歯科検診受診の重要性の啓発に取り組んだことによると考えられます。

たばこ・アルコール ☹️

令和4年度市政アンケートで、男性の喫煙率は19.9%、女性の喫煙率は6.6%とどちらも期首値（男性17.5%、女性6.2%）より増加しており、悪化しています。

令和4年度市政アンケートで、多量に飲酒する男性は6.4%と期首値12.2%より改善傾向にはありますが、目標値は達成していません。また、多量に飲酒する女性は2.5%と期首値2.2%より増加しており、悪化しています。

- ・集団検診実施日程を追加し、受診機会を増加させます。
- ・がん検診チラシに予約フォームにつながる二次元コードを追加し、市公式LINEにて集団検診の日程・空き情報をお知らせすることで検診受診の啓発を強化します。

- ・精密検査の未受診者について、より早期から医療機関と連携を図り、個別勧奨を積極的に行います。

- ・健康づくり推進員（健康づくりの推進を目的に養成したボランティア）がコースを設定し、市民とともにウォーキングを行います。
- ・大阪府民健康サポートアプリ「アスマイル」等の啓発を強化します。

- ・広報紙等を活用し、幅広い世代に向けて、定期的な歯科検診受診の重要性についての普及啓発を行います。
- ・市の各種健診等で個別勧奨を積極的に行います。

- ・喫煙対策や受動喫煙防止について啓発します。
- ・たばこをやめたい市民に対してたばこ相談を積極的に勧奨します。

- ・飲酒が健康に与える影響や適正な飲酒量についての情報を提供します。
- ・飲酒に係る相談機関の情報を提供します。

河内長野市の健康づくりに係る概況

健康づくりに係る7分野ごとに、次のとおり目標値を見直しました。

分野	指標	期首値 2017年度	現状値 ^(※3)	目標値 2026年度
母子保健	妊娠中の喫煙率	2.2%	2.5%	0%
	乳幼児健康診査の未受診率			
	4か月	2.4%	3.5%	2.0%未満
	1歳7か月	3.2%	3.2%	3.0%未満
	3歳6か月	8.5%	7.2%	5.0%未満
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合			
	4か月	96.5%	94.7%	増加
	1歳7か月	91.1%	91.3%	増加
	3歳6か月	89.6%	89.6%	増加
	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合			
4か月	81.3%	64.3%	95.0%以上	
1歳7か月	83.3%	73.8%	95.0%以上	
3歳6か月	84.8%	78.9%	95.0%以上	
栄養・食生活	食育に関心がある人	67.7%	71.7%	(新)増加 ^(※1) (旧)70.0%
	朝食を欠食する人 (20~30歳代)	33.3%	33.2%	15.0%以下
	行事食を取り入れている人	83.5%	84.6%	増加
	自殺者数	17人	12人	10人以下
休養・こころの健康づくり	ストレスを解消できている人	70.7%	66.1%	75.0%以上
	こころが疲れた時に相談できる専門機関を知っている人	36.0%	38.2%	57.0%以上
がん・生活習慣病	健康診断を受ける人	69.8%	73.2%	(新)増加 ^(※1) (旧)72.0%以上
	市が実施するがん検診受診率			
	40歳以上/ 肺がん	29.5%	26.9%	35.0%以上
	40歳以上/ 胃がん	16.9%	11.6%	25.0%以上
	40歳以上/ 大腸がん	21.9%	19.1%	30.0%以上
	40歳以上/ 乳がん/女性	27.7%	23.3%	35.0%以上
	20歳以上/ 子宮頸がん	16.3%	14.9%	20.0%以上

分野	指標	期首値 2017年度	現状値 ^(※3)	目標値 2026年度
がん・生活習慣病	市が実施するがん検診受診後の精密検査受診率			
	40歳以上/ 肺がん	94.3%	89.6%	(新)90.0% ^(※2) (旧)現状維持
	40歳以上/ 胃がん	90.2%	85.5%	(新)90.0% ^(※2) (旧)現状維持
	40歳以上/ 大腸がん	68.8%	79.7%	90.0%以上
	40歳以上/ 乳がん/女性	98.1%	97.7%	現状維持
	20歳以上/ 子宮頸がん	86.2%	70.0%	90.0%以上
身体活動・運動	運動習慣者（1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年間以上持続している人）			
	男性	33.2%	46.6%	(新)増加 ^(※1) (旧)35.0%以上
	女性	22.2%	33.3%	35.0%以上
歯の健康	う歯（むし歯）のない3歳児の割合	78.3%	84.5%	85.0%以上
	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人	54.4%	55.6%	65.0%以上
	80歳以上で20歯以上の自分の歯を有する人	36.9%	39.1%	(新)45.0%以上 ^(※2) (旧)40.0%以上
	定期的な歯科検診の受診者 (40~64歳)	52.8%	56.7%	(新)増加 ^(※1) (旧)55.0%以上
たばこ・アルコール	喫煙率			
	男性	17.5%	19.9%	15.0%以下
	女性	6.2%	6.6%	5.0%以下
	多量に飲酒する人（3合以上飲酒する人）			
男性	12.2%	6.4%	3.2%以下	
女性	2.2%	2.5%	0.2%以下	

※1 計画策定時（期首値2017年度）の目標を達成している指標については、目標値を2026年度「(新)増加」に変更します。

※2 国・大阪府の目標値に変更します。

※3 現状値は令和4年8月市政アンケート（20歳以上1,069名）と市・国の保健事業データに基づくものです。